

令和 4 年度 下野市地域自立支援協議会 部会評価シート

分科会名	相談支援部会
構成メンバー（敬称略）	大久保（部会長）、藤田、井上、篠崎、前野、早乙女、野原、大嶋（コーディネーター）
事務局	鈴木寿弥
<p>【目標①】</p> <p style="text-align: center;">相談支援事業の拡充（継続）</p> <p>【取り組み内容（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規展開された事業所等の情報や、地域課題の認識を共有。 ●不足する社会資源について、検討の場を設ける。 <p>【取り組む理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放課後等デイサービス等の事業所の数は増加するも、計画を担える相談支援事業所の数に限界があり、利用開始につながらないことが多くある。 ●生活介護を受けられる事業所の数が不足傾向にある。 	
実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ●新規展開された事業所等の情報や、地域課題の認識を共有。 ●不足する社会資源について、検討の場を設ける。 	
評価	
A ・ B ・ C	
評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ●事業所のシェアをするのは難しい。スキルアップや事例集の検討に重点を当てる事になった。 	

【目標②】

災害時の当事者への支援

【取り組み内容（予定）】

- サービス等利用計画に災害時の対応を入れる等の、災害時における支援体制を検討していく。

【取り組む理由】

- 訪問看護を利用している医療的ケア児は、災害時の支援体制が計画として個別に確立されている傾向にあるが、成人等には普及されていないのが現状である。

実施内容

- サービス等利用計画に災害時の対応を入れる等の、災害時における支援体制を検討していく。

評価

A ・ B ・ C

評価の理由

- 医療ケア児に対する支援体制がある程度整っているが、成人には整っていない。しかし、支援体制を構築していくには範囲が広すぎた。部会だけでの動きでは対応ができなかった。
- できるところから、サービス等利用計画に災害時の対応を入れるなど、少しずつ支援が広がっていけばとの思いを話したのみだった。

【目標③】

相談支援体制の拡充

【取り組み内容（予定）】

- 事例集（困難事例）を作成するにあたり、対象事例や事例の入力形式等を部会内で協議していく。

【取り組む理由】

- 障がい児者相談支援センターが支援者のバックアップ機能を有しているが、困難ケースが増加しており、支援者の負担が大きくなっている。
- 複雑多岐に渡るケースに直面した際に、連携先を見つけることに苦戦するという意見が多くある。事例集を作成することで、対応の手掛かりになるものを目指す。

実施内容

- 事例集（困難事例）を作成するにあたり、対象事例や事例の入力形式等を部会内で協議していく。
- 複雑多岐に渡るケースに直面した際に、連携先を見つけることに苦戦するという意見が多くある。

評価

A · B · C

評価の理由

- センターにフォーマットあり。センターと WADEWADE でケースを絞った。
- 付け加えの資料を作成し、事例集をまとめて完成目前。
- 事例集の配布先を検討している。案として図書館や学校、相談支援事業所などを検討中。
- 今年度中に完成させたい。